

などの中国語日刊新聞の他、North China Herald(1850 - 1941)、North China Daily News(1866 - 1951)のマイクロフィルムの所蔵がある。

新聞は、継続的に長期にわたり刊行される生きた資料であり、また、文化史の一面として非常に貴重な記録である。『新聞報』は、中国近代の政治史、経済史、文学史の面からは勿論のこと上海の市民生活、文化、風俗の研究にも格好の資料の一つとなる。同紙はこれまで日本国内で閲覧が極めて希であったこともあり、今後大いに利用していただきたい。

\* 1872年、英国商人メジャーが創刊。当館には上海店発行の影印版を全巻所蔵している。

\*\* 1949年5月27日号には、停刊の挨拶文やそのお知らせの記事は見当たらない。

この号が最終号であるかどうかは紙面から見る限りわからない。

#### 参考文献

牛島俊作『中国の新聞』日本新聞協会 昭和25

(まつい まゆみ 閲覧参考課)

#### The French Revolution Research Collection(フランス革命研究コレクション：基礎資料編)

4 sections. 5291 fiches. マイクロ・フィッシュ版

広瀬雅子

フランス革命は、同時代のヨーロッパのみならずその後の世界の各地に影響を及ぼした、世界史的な大事件であった。

文部省の助成金をうけて一昨年に本学図書館が購入した本コレクションは、フランス革命200周年を記念してフランス政府の全面的な支援を受けて企画されたもので、フランス革命研究にかかわる貴重な文献を多数集めたマイクロ資料である。

フランス、イギリス、アメリカ、日本など世界7カ国から集まった一級の研究者が組織的、系統的に検討を重ね、編集作業をすすめた結果、印刷史料を主とする100万頁以上ものオリジナル史料(一部手稿も含む)を、「基礎資料編」と「テーマ別編」の2つのパートに分けることになった。今回本学が購入したのは、その内の共通コア部分にあたる「基礎資料編」で、「新聞」、「回想・自伝」、「基本的な刊行史料」、「文献目録・所蔵目録」の4セクションに分けられている。

こころみに「新聞」のセクションを見ると、後に山岳派の指導者の1人となるマラーが革命の初期から発行していた『人民の友』(L'Ami du peuple)とその後継紙や、軍隊でも配布されて革命期の新聞として引用されることの多いエベールの『ペール・デュシェーヌ』(Je suis le véritable Père Duchesne, foutre!)が、ほとんど欠号なく揃っている。このほか、プリュドムの『レヴォリュシオン・ド・パリ』(Révolutions de Paris)やジロンド派の指導者ブリッソーの『パトリオット・フランセ』(Patriote français)のようにパリで出版された15紙に加え、リヨン、マルセイユ、トゥールーズ、ボルドー、グルノーブルなどフランス各地で出版された26紙も取り上げられており、パリ偏重をさけて、地域ごとの多様性をつかめるよう配慮されていることが窺える。

また「文献目録・所蔵目録」のセクションには、各種の文献目録類やこれまで入手しにくかった各地の図書館、文書館、史料館などの所蔵目録が広く集められており、このコレクションで印刷史料の調査を済ませてから手稿史料などにとりかかる際にも、その下準備を進めるのに効率的な調査手段を提供してくれている。

オリジナル資料の所蔵館は、フランス国立図書館をはじめ、フランス国立文書館、大英図書館、ニュー・ヨーク・パブリック・ライブラリー、シカゴのニューベリー図書館やハーバード大学のワイドナー図書館など世界各地に及んでいる。

(ひろせ まさこ 閲覧参考課)